



Share Rotary—
Serve People

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 斎藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 74 名 出席 52 名 出席率 70.27% 前回出席率 72.97% 修正出席 64 名 確定出席率 86.49%

ゲストスピーチ

南 米 を 旅 し て

鶴岡市助役 佐藤 公志氏



日頃は鶴岡市政各般に亘りR.C.の皆様にお世話になりまして厚く御礼申し上げます。本日は例会にお招きいただき南米訪問の報告をする機会を与えていただき誠に有難うございました。

私、8月26日から9月9日まで市長の代理として南米を訪問して参りました。今回の訪問の目的はブラジルに山形県人会というのが組織されておりまして、その会が出来てから30周年を迎える記念式典がございまして、それに出席をする。又この機会にブラジル・ペルー両国の行政事情の視察が目的でございます。

記念式典ですが、ブラジル国の記念式典はどういう形式でやられるかと興味深く思っておりましたが、日本人の、特に県人会の式典でしたから全く日本式でした。当日この祝賀会に参加された方々は約500人でした。鶴岡からは約35世帯220人位、1世2世3世4世含めておいでですが、鶴岡出身の方の出席はごく僅かでした。私達市町村代表团は10名でしたが、入場の際出席した県人会の方々から盛大な拍手を受け、熱烈に歓迎されたわけでございます。特に来賓祝辞の中で感動した部分をお伝えしたいと思います。一つは日系ブラジル人の喜びは3つあるということ。一つはブラジルに根をおろして建国に努力すること。二つ目は母国である日本を訪問すること。三つ目は母国日本の方々にブラジルを訪問していただくこと。これが日系ブラジル人の大きな心の支えになり、励みになることであります。ブラジルは現在日本人の移住は認めておりませんが、何んでもよいからブラジルに新しい血を入れてほしいという訴えがありました。花嫁さんが不足で困っていることから、このような形で移住して来てほしいとい

うお話がありました。

もう一つ感動しましたことは、野村という日系の国会議員の話の中に、山形県の大石田の出身者の方で鈴木貞次郎さんという開拓の草分けの方ですが、本当に汗と涙と血で働いたパイオニア的な存在の人ですが、この方の評価をしておりました。今ブラジルには大きな難関に突きあたっている。対外債務が900億ドルあるため、これを返済するのに汲々としている状態であります。しかし21世紀には世界の大国になるという目標がある。資源もあり広大な土地もあるので、ブラジル人あげて国造りに取り組んでいるというお話して、特に日系山形県人会の功績をたたえて、県人会の皆様と共にブラジルの発展のため、世界平和のために邁進しようとジェスチャーを交えて訴えておられたのが強く印象に残りました。

翌日から移住者の入殖地の一部を訪問しました。案内をして下さったのは三瀬出身の斎藤伊助さん、今年80才の方です。大正の初期に移住し、今は功成りて財産を築かれておりますが、この方から車で案内をしていただいて、サンパウロ郊外の入殖地に行き参りました。

私共の訪れた入殖者は鶴岡出身ではなく、最上郡鮭川出身の荒木克弥さんという方で、農場は10haしか持っておりませんが、フルに活用して大きな収入をあげていました。菊アザリア、つつじ、観葉鉢の生産から卸まで一貫した経営で、年間50万鉢の花鉢類の生産をする。年商日本円で1億5千万円で、現地人約60人を使用して非常に裕福な生活をしておられるようにお見受けしました。その方に労働者にどの位賃金を支払っているのか聞きましたら月1万6千円。とても日本では生活できないと思われるが、どんな生活をしているのかと尋ねましたところ、彼は仲々労働者思いで、自分の農園内に住宅を建ててやっており、家賃はかからないので食べるだけには充分という実態のようでした。

庄内空港の建設を推進しましょう

ブラジルの賃金ベースはどうかと聞きましたら、自分のところで払っているのは良い方で、ほとんど1万3千円位ではないか。これは公務員労働者おしなべてのもので、どうしてこのような低賃金で食べるのかと聞きますと、食べるだけは何とかやっつけける。ただし贅沢はできないとのことでした。

貧富の差が非常に激しいという実態で、上流・中流階級が3割、本当に食えない下層階級が7割で、これで革命やストライキがおきないのは何故かと聞きましたが、食うに困らないのでアクセクすることはないし、大國で平和を愛する国民性なものですから、そのような騒動はおきないとのことでした。

ブラジルは、人口1億2千万位で、日系人が75万から85万位おりますが、農業その他各界で活躍し大統領をはじめ、政府国民から非常に尊敬され、信望を集めているとのこと。日本の23倍の大國で21世紀を目標として国造りに取り組んでいます。何故借金が多いか原因を聞いてみましたら、首都ブラジリア、これは新しく高原を開発して造った都市ですが、首都建設に膨大な経費を要したということと、リオデジャネイロの対岸の島14kmあるところへ巨大な橋をかけるのに相当な投資をしたこと、また大きなプロジェクトを多く手がけているためにブラジルは貧乏しているとのことでした。経済的に借金が国自体大きくかさんでいるため、インフレが非常に激しいとのことでした。対前年比物価が80%から2倍になっている。ただ生活費はそう騰っていないが、他の物価は非常に騰り方が速いということです。借金で事業を営んでいる方の生活は極めて苦しい。例えば借入利率はインフレにスライドして100万借りると翌年は180万なり200万を返さなければならないという実態だそうです。日本の移住者は借金して農地を購入する。或は農場を経営しているので非常に苦しい。そのため折角開拓した農地をブラジル人に手放すという方もあって、なぜかわしいということでした。一方、預金者も保護され、預金利率もインフレにスライドして騰がるようで、斎藤伊助さんは100haの農地を持っておられたのがサンパウロ郊外だったので、そこが道路や宅地になり、全部公共事業に手放しておられ、そのかわりに土地代金を相手手にされ、利息でゆうゆう生活されているようにお見受けしました。経済事情の非常に苦しい中で、ブラジル人が一体となって国造りに励んでいる実態を眼のあたりに見て参りました。

次に教育制度がどうなっているか聞いて参りましたが、日本は義務教育は6・3制ですが、ブラジルは小学校4年、中学校4年、州によって小学校5年中学校3年とまちまちで、義務教育になっていても仲々経済事情がともなわないということで、学校には行かなくてよいという大らかな国のようでした。

従って文盲が3割もいるということで、文盲撲滅運動をやっている最中だということでした。そのため道徳は非常にすたれており、政府も道徳教育に重点をおいた教育をやろうとしているとのことでした。

また、選挙制度にも興味があつて聞いてきましたが、日本は20才にならないと参政権がありませんが、ブラジルは18才になると参政権があるということです。日本の場合は、居住地・住民登録をしている所で投票をしますが、ブラジルは本籍地で投票をします。そのため選挙の時は皆里帰りをするというので、棄権をすると外国に行けないというようなペナルティを課せられるということです。ただし金を払えば解消されるということです。

兵役は、日本は自衛隊ですが、ブラジルは徴兵制で、17才で兵隊に行き、行かないと就職できないというペナルティがある。ただし扶養家族があると兵役が免除されるということでした。

保険医療制度は、職場には保険制度があるけれどもその他はない。日本のような皆保険制度ではない。また保険医は態度が大きくて、よく診てもらえない。どうしても診てもらいたい人は午前4時頃から行って予約をしなければならない。そのため1kmも2kmも患者がつながることがある。しかも医者や薬がよくないので仲々なおらないとのことでした。日本人は大部分日系の医者にかかり、保険のきかない良い薬をもらうため高い金を払って医者に診てもらおう。そうしないと仲々なおらないということで、医療保険制度は非常に遅れているという印象を受けて参りました。

治安は誠に悪く、私共も日本を出るとき多くの方から注意を受けて参りましたが、とにかく置き引き・万引き・かっぱらいがいっぱいあるので気をつけるようにとのことでしたが、そういう注意をしていったので被害にあわずに済みましたが、ある市長がベレンという町からリオデジャネイロに移る時飛行機に荷物を積んだところ、積んだトランクの錠を開けられ、ドル紙幣を抜きとられたということで、空港の職員や税関の職員まで盗人になるので気をつけなさいと言われましたが、事実そういう事件がありまして、非常に治安が悪いなという印象を受けました。

それからサンパウロの街を歩きましたが、大きな邸宅の塀の上にはガラスの破片がいっぱい置いてある。また廻りにはいっぱい置いてある。これは盗人よけということで、これも治安の悪さを印象づけられました。

店は日曜は休みでしたが、観光で感じたことを申し上げれば、サンパウロですが、ここは都市計画のないままどんどん郊外膨張した街という印象を受けました。道路は広くとられていますが、住宅は非常に質素で、まちまちで、街路樹なども少ない。また

道路や公園は紙屑などいっばいで雑然とした印象でした。日本では紙を散らかすと世間から指弾を受けますが、ブラジルではこれが慣習になっている。なぜかという清掃夫が失業するからだということでした。市街地には会社や店の広告がほとんどない。あまり宣伝しなくても暮せるからよいという主義からかと感じました。

日本車はほとんどない。これは輸入を禁止しているということでした。ただし2輪車はほとんど日本製のホンダとかヤマハでした。

道路が広いのは感心しました。片道一方通行で6車線ずつ12車線。枝線は小さいが幹線は広々としていて交通信号はありません。それで車の流れは極めてスムーズだと見受けました。

ブラジルはサッカーが国技で、市内の空地の至る所で青少年がサッカーに興ずる姿が眼につきました。

食事で珍らしいのは鶏の心臓を串にさして焼いたシュラスコというのが非常においしいものでした。

次にブラジルに行きましたが、ここは今世紀に新に造られた首都で人口160万、周辺115kmの人工湖で、街を囲んでおりまして、昔でいえば宮城のお濠のような形のもので、その中に官庁街・銀行街・ホテル街・グランド類・住宅地、各業種別・職種別に区分された町並がありまして、更にその区画毎に膨大な空地があって、将来いくら建物が増えても受け入れられる余地があるように都市計画づくりがなされておりまして。空地に雑草が生えれば火をつけて焼くということで、大使館のそばが真黒くなっている。銀行街の空地から野火が燃えているというように、日本では見られない風景でした。道路はやはり広く6車線でした。

ベレン これはアマゾン河口にあります。この奥地にトメアスという所がありまして、日本人が約200世帯に移住しております。これは非常に裕福な暮らしをしておりまして。農業経営者の日本人はオーナー的存在で指導監督だけすればよい。あとは現地人ということで、外国旅行もできる高いレベルの生活をしているようでした。入植時は金を一銭も持たず、泥水をすすり、マラリアと闘って大変な苦勞をしたけれども、今日このような生活ができるようになりましたというような事が印象に残りました。ベレンに入って感じたのはレストランに入ると壁に大きな白や桃色のトカゲをはわせているということでした。何故かと聞きますと蠅をとってくるのだということです。また濠の周辺に水産市場があり禿鷹やトンビがいっばい飛んでいる。これが臍物を始末してくれるということで、人畜共存共栄の風景をまのあたりに見てきたところでした。道路にも紙屑などが非常に散らかっていて、全体的にきたないし、ゴミ収集なども夜9時ごろから始めるということで、収

集状況も見て参りましたが、これも散らかす習慣はブラジル一円ではないかと思いますが、ゴミ収集夫が失業するからということでしょうか。

時間がありませんので、ペルーの話をしませんが、ペルーは貧乏国です。金銀銅はありますが、世界で最も貧しい国の一つだということ、これも治安が非常に悪いようでした。私共はかっぱらいに会うこともなかったのですが、特に空港で感じたことは子供さんが午前0時、1時になって物売りに来る。親はどうしているかといえば寝ているのではないかということで、ちょっと考えられないことですが、代々このような生活リズムになっているのではないか。児童福祉などという事は全然顧みられていないのではないかの印象を受けました。

クスコという町に行きましたが、ここはインカの遺跡があってそこに行く拠点観光都市です。海拔3,500米ぐらいあって、空気の非常に稀薄なところです。消防車が1台位しかない。30万位の都市ですから火事は大丈夫かと聞きますと、空気が稀薄なため隣に燃え移ったり大きくなったりしないということでした。雨は年間23mm位しか降らないそうです。飲み水はどうしているかという、アンデス山脈6,000米ぐらいあって万年雪がありますが、その雪解水でまかなっているということです。

総論的な感想を述べますと、日本と比較して格段の相違があるということです。人間にも長所短所があるように、どこの国にも長所短所がありますが、あらゆる面から比較しても現状では日本はブラジルやペルーと比較して数段、数十段上位にあるというように受けとめて来ました。日本は本当に恵まれた国だなあ、繁栄した国だなあと感じました。しかしながら日本の将来というものを考えますと、21世紀22世紀を考えた場合、ブラジルは未来性のある国だと感じました。面積は日本の23倍、人口は日本と同じ1億2千万。膨大な資源があり、未開発な土地が無限大にあるといっても過言ではないと思いますが、こういう国とは国際親善、仲よくしていくべきだというのが実感でございます。特に日本人はブラジル人の評価、ブラジル政府の評価は非常に高い。なぜ高いかといえば、非常に勤勉な国民性、しかも頭も優秀である。ブラジルにおける実績もあるわけでございます。この人達は日本人の訪問を歓迎しております。彼等の励みになり、支えになっているわけなので、今後とも機会があればブラジルを訪れて日本人を励ます。それがブラジルにおける日本人の地位を高めるということになるわけで、それが日本とブラジルの友好関係を深める源になるのではないかと思います。従いまして、ロータリーの皆様にもブラジル、ペルーに関心を寄せられまして、機会があればご訪問を願って、移住者を励ましていただきたい、この機会にお願いしたいのであります。

日本・ブラジル・ペルーの親善の輪をもっと大きく拡大をして、将来にそなえる必要があるのではないかと痛感して参った次第であります。

来 日 ご あ い さ つ



皆様、私は日本語で長い話をしたことはないのですが、これから頑張ります。

私は4年程前日本に居ました。その時は福井市を訪問しました。福井のR.C.でも話をしましたが、その時は英語で話しました。

今度鶴岡は1年間の約束ですから、外で皆様とお会いできるかも知れません。鶴岡には先週の日曜日に着きましたが、大層良い所だと思います。

私は今週の火曜日に斎藤第六市長に会い、N.B.からの挨拶状を持って来ました。斎藤市長さんには絵を持ってきました。その絵はN.B.のR.C.で売っているものです。

私の父は4年程前にニューブランズウィックR.C.の会長でした。その前はN.B.ラトガース校(私立学校)の校長先生でした。ラトガースはN.B.にある大

DAVID・A・HEINLEIN 氏

学ですが、1766年に建てた大学です。高校はその時から今までやっています。明治維新のはじめに日本から留学した学生達はN.B.に多勢いました。当地から留学した高木三郎さんも来ていました。

私はこれらの若い日本人留学生達のことを研究しました。それから日米関係に深い興味を持っているので、これから1年間の鶴岡の生活を充実したものにしたいと思っています。どうも有難うございました。

※DAVID・A・HEINLEIN氏のプロフィール
通称SANDY ニュージャージー州ピスカタウェイ出身。アーマスト大学卒修士。アーマスト大学は新島襄の留学した大学で、同志社大学の姉妹校。彼は特別聴講生として同志社大学で2年間修学。父DAVID・M・HEINLEIN氏、新穂恵さんのファースト・ホストファミリー。

今回市役所の英語研修相談員として来日した。日本通で和食も可。書道、その他の趣味を持つ。時間があれば幕末から明治維新にかけての歴史を調べたいとのこと。

会 長 報 告

内 山 喜 一 君

1. 大変悲しいことですが、郡山R.C.の金子パストガバナーが逝去されました。心から御冥福をお祈り申し上げます。
2. 先にご案内申し上げました荘内銀行仙台長町支店長本間利雄さんが、過日の福島地区年次大会においてポールハリス・フェローの表彰を受けました。メダル・バッジにお礼状を付しましてお送りしてあります。

幹 事 報 告

斎 藤 隆 君

1. 例会時間など変更のお知らせ
立川R.C. 10月20日(木) 午後6時から
北月山荘 登録料 4,000円
2. 富岡R.C.より10周年記念誌が到着
3. ローターリー財団より「世界平和に尽くすロータリー財団」出版物到着
4. 日中友好のしんぶん「日本と中国」10%号到着
5. 「ロータリー名言カレンダー」の見本到着
週めくり(53枚)定価1,200円 申込みは事務局へ

ス マ イ ル

旅 河 正 美 君 (東京北R.C.)

鶴岡生れです。昨年鶴岡地区大会で田中善六ガバナーに来年の福島地区大会に必ず出席するとの約束を交わしましたが、私は東京北R.C.の親睦委員長を努めておりまして、折り悪しく丁度大会の日は京都旅行の責任者となったため、欠席しまし

たので、そのペナルティとして郷里のクラブである当クラブに挙出させていただきます。

なお、東京北クラブは160名位の会員がおりますが、陸士出身は今回R.I.会長代理で出席された竹田さんと私の2人ですし、田中ガバナーは陸士の2年先輩にあたるという奇縁をつけくわさせていただきます。

委 員 会 報 告

1. 親睦委員会から

○ゴルフ大会は10月23日(日)12:30スタートで、鶴岡西R.C.と合同で行います。参加希望者は別途受け付けます。

○10月21日実施の磯釣り大会の打ち合せが例会後ありますので参加者はお残り下さい。

1. 米山奨学会委員会より

○本日の米山奨学会協力の日のコインスマイル協礼金として16,199円集まりました。御協力を感謝します。

ゲ ス ト

鶴岡市助役 佐藤公志氏
DAVID・A・HEINLEIN氏

ビ ジ タ ー

東京北R.C. 旅河正美君

鶴岡西R.C. 井上彬君・佐藤等君・桜井清君・

桜井晋君・足立一見君・佐藤拡君

(今週の担当者 佐々木栄一)